

# ハザードマップの使い方

## ご利用にあたって

この諏訪市マルチハザードマップは、日頃から災害に備えるため防災情報や災害発生のおそれがある場所を確認し、災害時に適切な避難行動がとれることを目的に作成しました。ご自分の生命・財産を守るため事前に確認しましょう。ハザードマップの災害想定は一つの目安です。過去の災害記録や災害時の周辺の状況を確認しましょう。

## 地図

市内を3エリアに分けて、次の情報を重ね合わせて掲載しています。

- ・広域避難所（指定避難所） ……災害により自宅で生活できない被災者が一定期間避難生活をするための施設
- ・広域避難所（指定緊急避難場所） ……災害の危険が切迫した緊急時に、安全を確保する場所又は施設
- ・福祉避難所 ……高齢者、障がい者、乳幼児等の要配慮者のうち、一般の避難所での生活が困難な方が、安心・安全に避難生活ができるよう必要に応じて開設する二次的な避難所  
災害時に同時に全ての避難所を開設するわけではありません。市からの情報を確認し、避難してください。
- ・土砂災害（土石流、急傾斜、地すべり）を掲載しています。最新の令和5年時点の情報です。  
土砂災害警戒区域（イエローゾーン） ……土砂災害のおそれがある区域  
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） ……土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域  
2022年に配布した諏訪市マルチハザードマップに掲載の諏訪湖、上川、宮川の洪水浸水想定区域図に、新たに、下表の中小河川を追加しました。水防法に基づき、1年間の発生確率が1,000年に1度程度の大雨による洪水浸水を想定したものとなり、各河川の浸水深及び浸水区域を重ね合わせ、最も深い浸水深で掲載しています。
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）  
氾濫した水の流速が早く、木造家屋が倒壊・流出するおそれのある堤防沿いの区域です。この区域は、早期の立退き避難が必要です！

### 長野県調査による前提となる降雨

### ■ 洪水予報河川及び水位周知河川

諏訪湖	流域	48時間で	750mm
上川	流域	48時間で	790mm
宮川	流域	48時間で	840mm

### ■ 中小河川

角間川	流域	48時間で	946mm
島崎川	流域	48時間で	956mm
千本木川	流域	48時間で	977mm
舟渡川	流域	48時間で	750mm
新川	流域	48時間で	950mm
武井田川	流域	48時間で	971mm
鴨池川	流域	48時間で	975mm
上野川	流域	24時間で	836mm
衣之渡川	※		—

※衣之渡川は、流入元である角間川及び島崎川流域の想定降雨をもとにシミュレーションしており、個別の流域及び前提となる降雨はありません。

## 揺れやすさマップ及び地震液状化マップ

長野県地震被害想定（平成26年調査）に基づき、市内で最も大きな被害が想定される糸魚川-静岡構造線断層帯（南側）地震による被害を想定したものです。

○ハザードマップについては、諏訪市の出前講座「よりあい塾」でも説明等いたします。

地図や記事等は、市ホームページ、すわなび（地図部分）で詳細確認できます。

